

認知症のことを知ろう！



おじいちゃんとおばあちゃんのことば、
いつもやさしくしてくれるね。

日付や曜日 分からない

相手は自分とどのような関係の人 分からない

そうした当たり前が壊れていく

認知症は、とても身近な病気です。認知症の人と**家族が安心して暮らせる社会**をつくるのが大切です。

2月14日 (水)、

4年生は**認知症の学習会**を開きました。講師は、認知症サポーター養成講座のみなさんでした。認知症の症状には「買ったものを忘れる」「自分のものを勝手に使われたと思ひ込む」「自宅と分かってはいない」「帰り道を間違える」等があります。本人が得意としてきたこと、楽しみにしていたこと、日常生活の当たり前のことができないことを**認知症**といいます。

認知症を正しく理解し、認知症の人の立場に立って、なぜそのような行動をとるのかを考えてあげることにより、認知症の人への対応の仕方がわかってきます。**認知症の人ともうまくコミュニケーションがとれる**ようにすることが大切です。



- 認知症サポーターはどんなことをすればいいの？
- ① 認知症という脳の病気について正しく理解すること
 - ② 友だちや家族に学んだ知識をつたえる
 - ③ 認知症の人や家族の気持ちを理解し、せし方を学ぶこと
 - ④ 認知症の人をおうえん、ささえること